



心身を鍛えて 横断成功



- ①牛深ハンヤ橋を背に進む船団
- ②長島海峡を横断する第2天長丸に権立^{かいた}てで敬礼
- ③元気良く選手宣誓をする、代表の築地瑠偉くん
- ④中間地点で笑顔を見せる選手ら

午前11時30分にカヌー54艇が牛深港を出発。応援に駆けました。

熊本市天草市の牛深港と本町の蔵之元港間の長島海峡8キロを横断する、第26回カヌー長島海峡横断大会が8月22日に開催されました。

この大会には小学生22人、中学生24人、高校生2人と一般13人を加え計62人が参加しました。

つけた家族らから「頑張つて」と声援を受けながらスタートしました。選手らは、8隻の救助船と牛深に配属されている海上保安庁の巡視船が見守る中、牛深ハンヤ橋を背に隊列を整えながら力強くゴール地点に向かって一こぎ一こぎ前に進みました。

しばらくすると、長島海峡を横断するフェリー第2天長丸から、エールの汽笛が鳴らされ、参加者らはオールを立て、敬礼の意味でもある権立^{かいた}てで、お礼の合図を送りました。

時より潮の流れやうねりですぐ苦戦する場所もありましたが、中間地点で小学生は選手交代を行い、約2時間で蔵之元漁港へ全員が無事ゴールしました。

今回初めて挑戦した蔵之元小学校の有馬貴章くん（5年）は、スタート前緊張した様子でしたが「頑張ってきた」と話してくれ、立派に横断制覇を成し遂げました。